

2012年3月期 第3四半期 決算概要

テルモ株式会社
執行役員 経営企画室長

羽田野 彰士

2012年 1月30日

決算概要(第3四半期)

(億円)

	11/3期 Q3累計	12/3期 Q3累計*	増減率
売上高	2,442	2,889	+18%
粗利益	1,272 (52.1%)	1,540 (53.3%)	+21%
販管費	791 (32.4%)	1,041 (36.0%)	+32%
営業利益	481 (19.7%)	499 (17.3%)	+4%
(のれん償却除く)	493 (20.2%)	555 (19.2%)	+13%
経常利益	429 (17.6%)	463 (16.0%)	+8%
純利益	275 (11.3%)	220 (7.6%)	-20%

期中平均レート US\$ 87円 79円
 EUR 113円 111円

*BCT:4~12月、Harvest:5~12月実績を連結

BCTの決算概要(第3四半期)

(億円)

	12/3期 Q3累計	増減率 (為替影響除く)
売上高	342	+ 9%
粗利益	208 (60.8%)	+ 5%
販管費	126 (36.9%)	+ 16%
営業利益	82 (23.9%)	- 5%
経常利益	79 (23.0%)	統合費用除くと営業利益 増減率は+1%
純利益	49 (14.4%)	

新規のれん、無形資産償却を除く

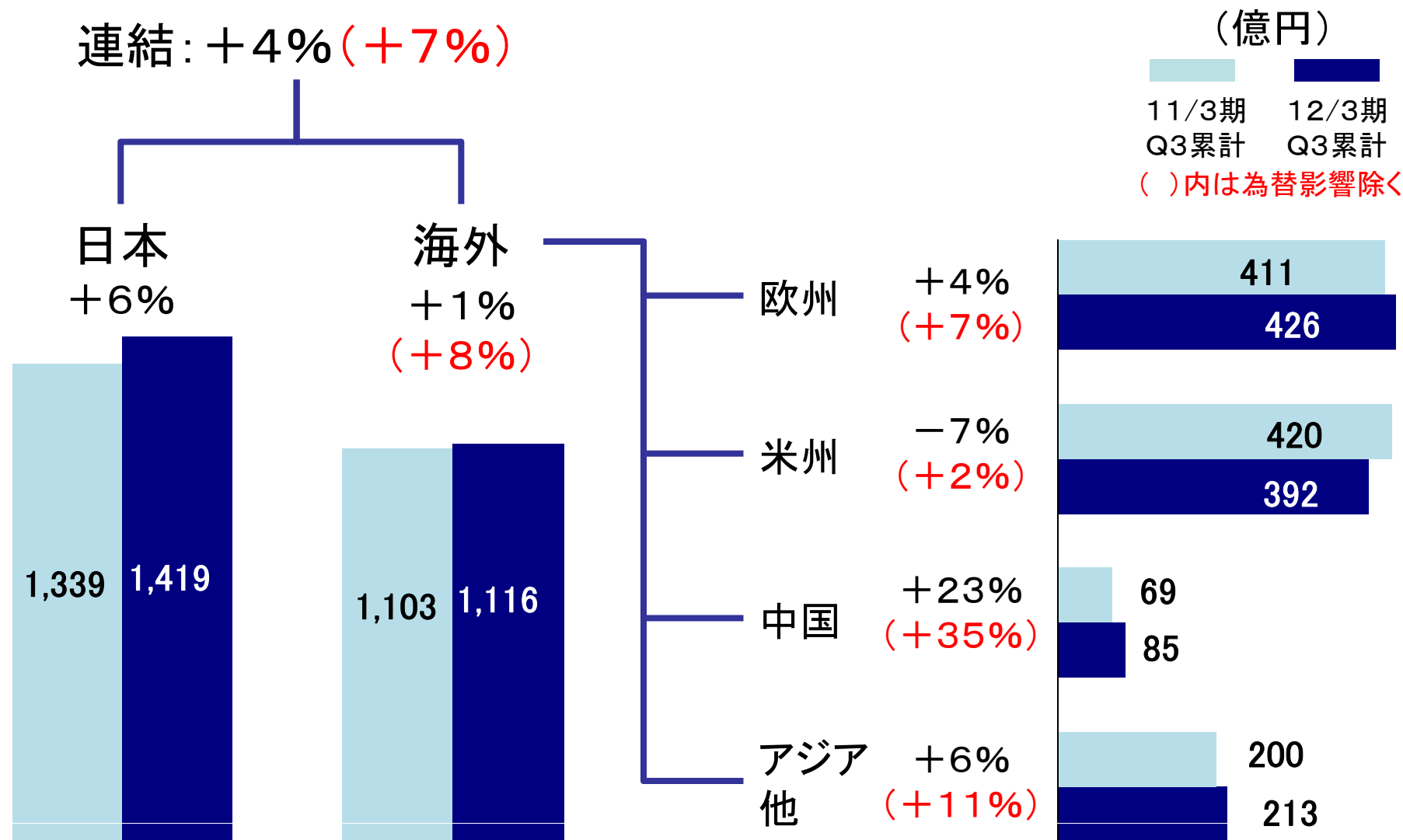
既存事業の決算概要(第3四半期)

(億円)

	11/3期 Q3累計	12/3期 Q3累計	増減率	為替影響 除く
売上高	2,442	2,535	+4%	+7%
粗利益	1,272 (52.1%)	1,323 (52.2%)	+4%	+8%
販管費	791 (32.4%)	819 (32.3%)	+4%	+6%
営業利益	481 (19.7%)	504 (19.9%)	+5%	+11%
経常利益	429 (17.6%)	472 (18.6%)	+10%	
純利益	275 (11.3%)	243 (9.6%)	-12%	

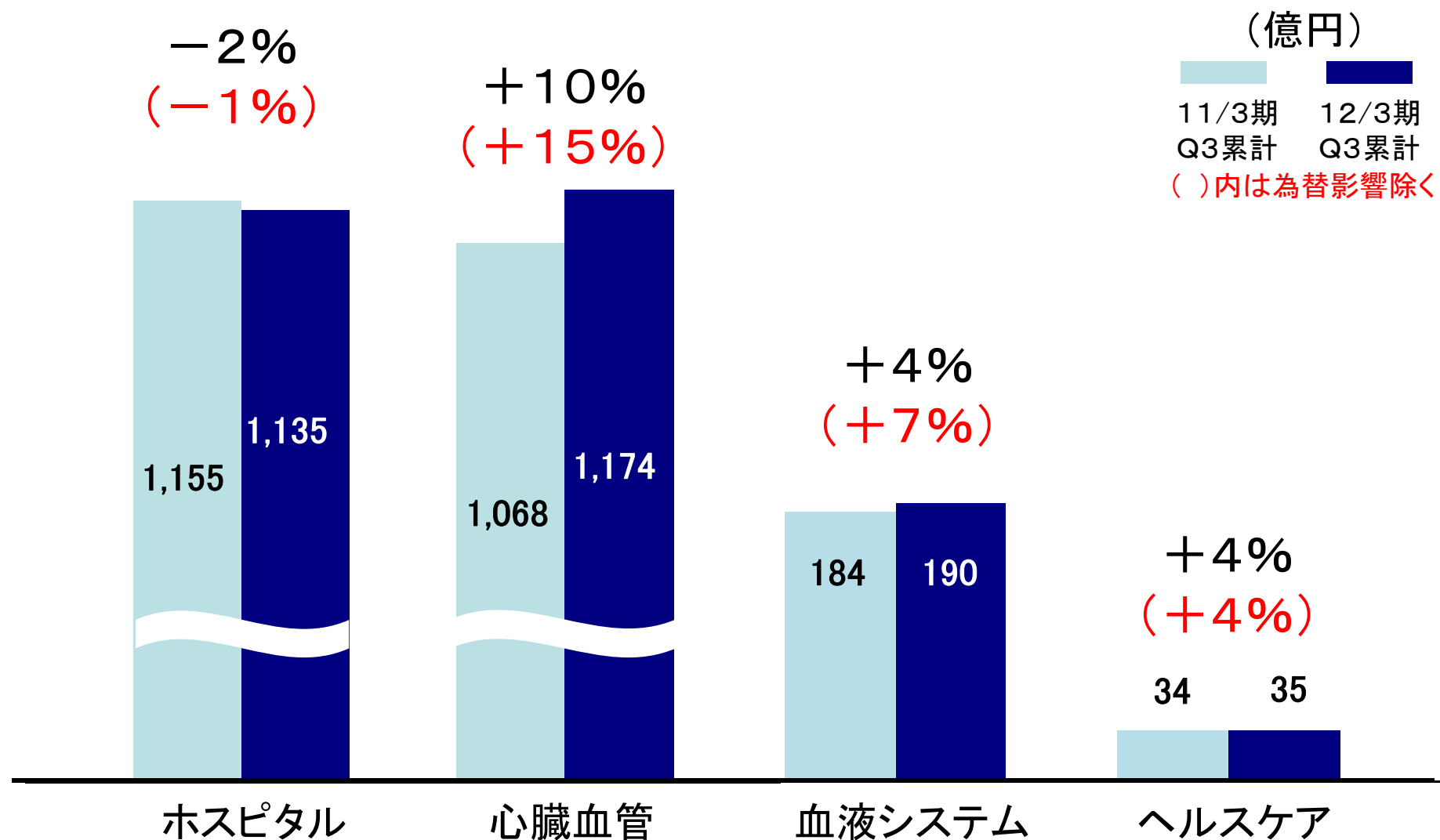
新規のれん、無形資産償却を除く

売上高(地域別)

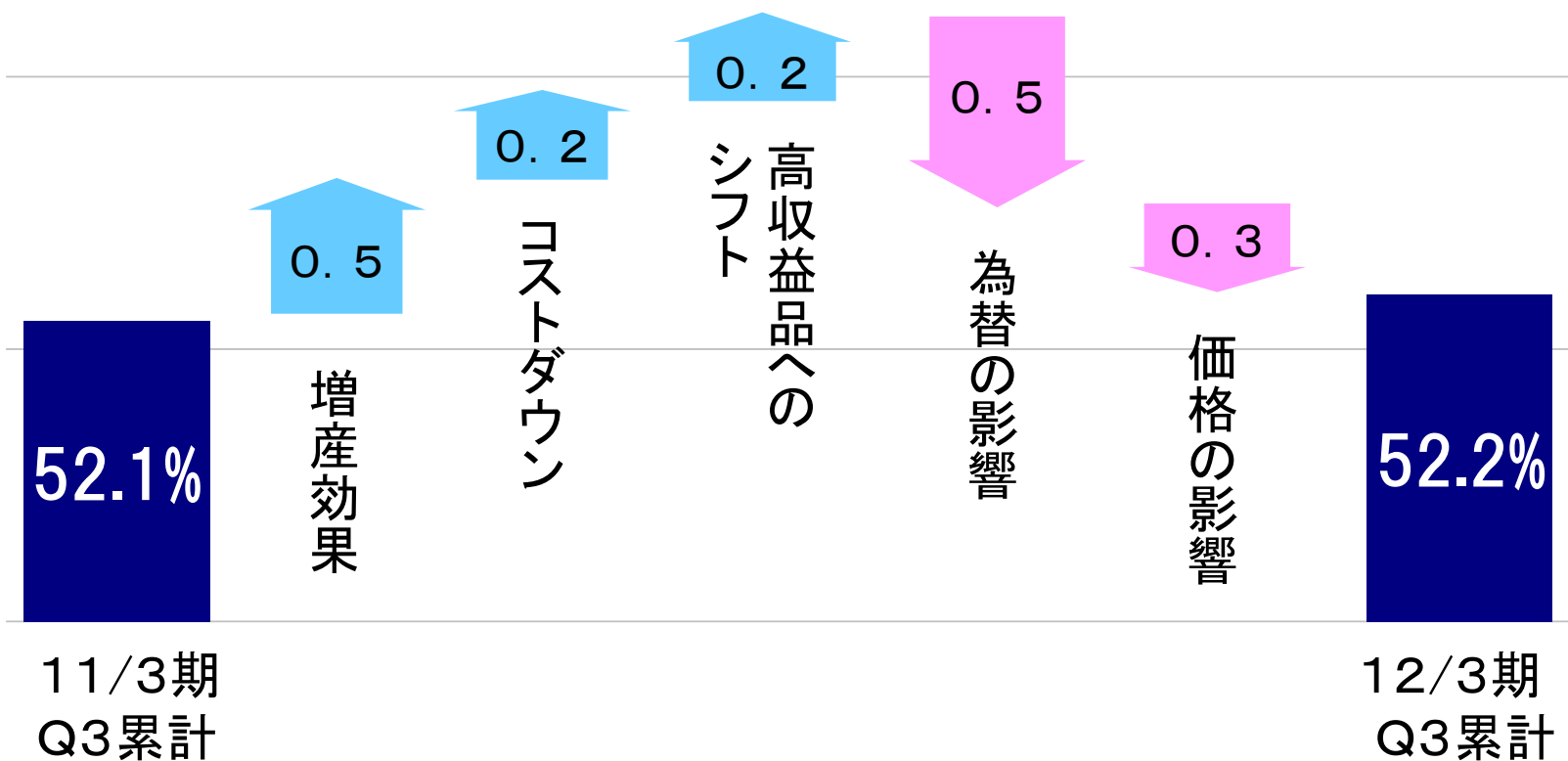


*アジアは4-12月で統一

売上高(事業セグメント別)



粗利益率差異分析



期中平均レート	11/3期 Q3	12/3期 Q3
US\$	87円	79円
EUR	113円	111円

販管費

(億円)

	11/3期 Q3累計		12/3期 Q3累計		増減	増減率
人件費	288		292		+ 4	+1%
販促費	77		80		+ 3	+5%
物流費	72		75		+ 3	+5%
償却費	34		34		- 0	-2%
その他	175		185		+10	+5%
一般管理費計	646	(26.5%)	666	(26.3%)	+20	+3%
研究開発費	145	(5.9%)	153	(6.0%)	+ 8	+6%
販管費合計	791	(32.4%)	819	(32.3%)	+28	+4%

()内は対売上高%

Q3純利益への影響

【特別損益】

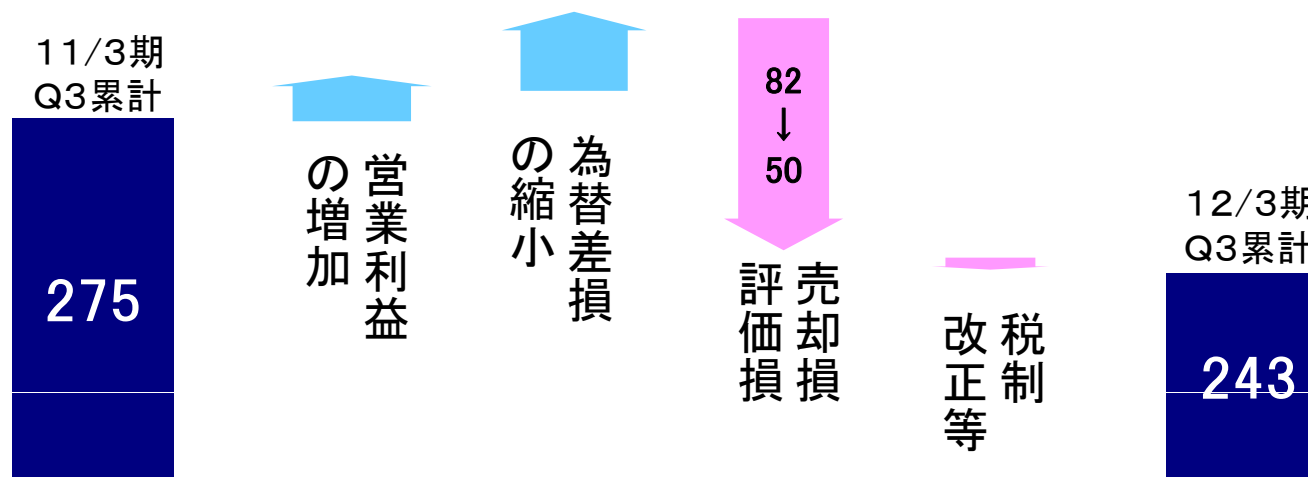
(億円)

オリンパス社株式売却損	▲ 16	} ▲ 82
オリンパス社株式評価損	▲ 66	

【法人税】

税制改正の影響	▲ 5
---------	-----

【純利益の差異分析】



2012年3月期 通期業績予想

(億円)

	従来予想	修正予想	修正額
売上高	3,830	3,830	—
営業利益	626 (16.3%)	626 (16.3%)	—
経常利益	580 (15.1%)	570 (14.9%)	—10
純利益	325 (8.5%)	260 (6.8%)	—65
のれん償却 除く	営業利益	700 (18.3%)	700 (18.3%)
	純利益	399 (10.4%)	334 (8.7%)

想定レート	下期		通期	
	US\$	75円	77円	75円
EUR	103円	108円	103円	108円

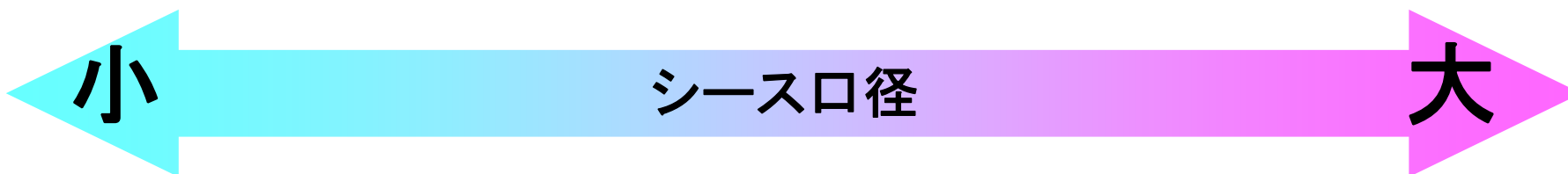
第3四半期トピックス

1. 大口径シース技術の獲得
2. 山口工場の設立について

1. 大口径シース技術の獲得

シースはカテーテル治療の入り口

- 治療デバイスの種類により使用する口径が異なる
- 大口径は傷口が大きく、患者さんの身体への負担大

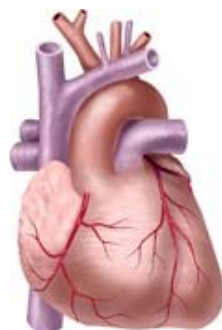


口径: 2~3 mm

- 脳コイル
- 冠動脈ステント



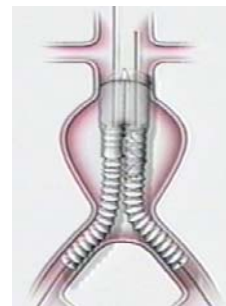
脳血管



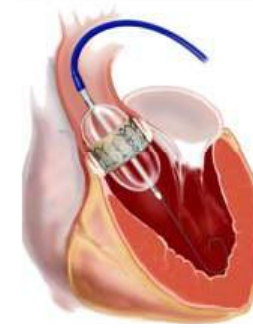
冠動脈

口径: 6~9 mm

- 心臓弁
- ステントグラフト



大動脈



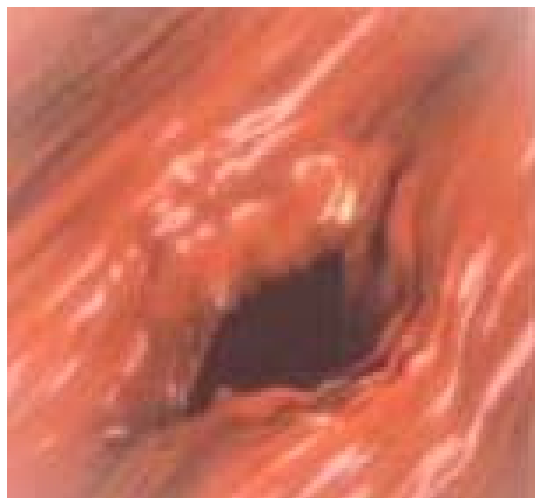
心臓弁

【画像出典】循環器病情報サービス、厚労省 先進医療.net、Intermountain healthcare group、医療情報配信ネット CareNet.com

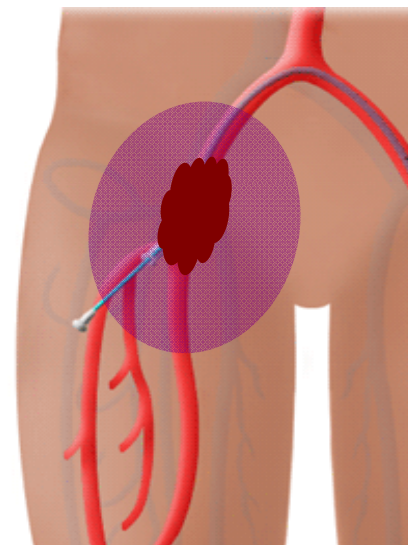
1. 大口径シース技術の獲得

課題を克服し、患者さんへの負担を減らす

大口径シースの課題



血管壁への損傷が大きく
血栓や血管が裂けるリスクがある



傷口が大きく、出血や
感染のリスクがある

リスクを低減するには・・・

小さい径で血管に挿入する必要がある

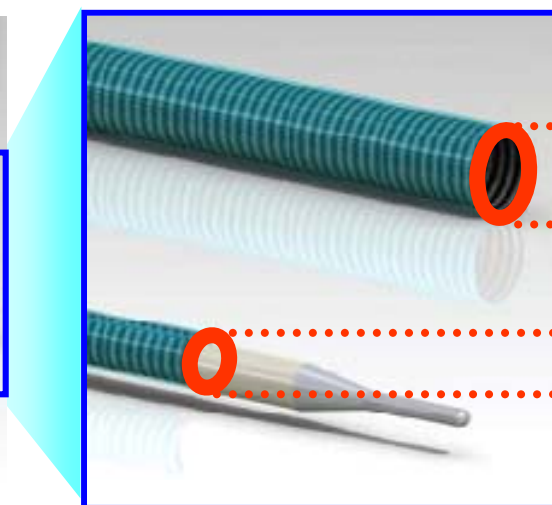
世界唯一の拡張型シース技術を獲得



- Onset Medical社 (2003年設立) 米カリフォルニア州
- 折り畳まれたシースを血管挿入後にバルーンで拡張
 - 血管穿刺時の径が小さいため、つくる傷口が小さい
 - 血管は伸縮性があるため拡張後も穿刺傷自体は小さいまま



SoloPath™ Balloon Expandable TransFemoral Access System



拡張後

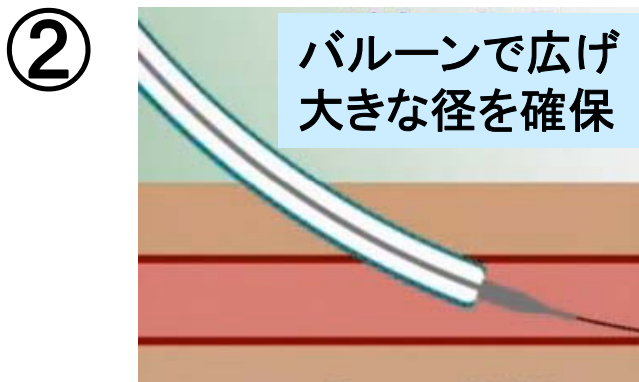
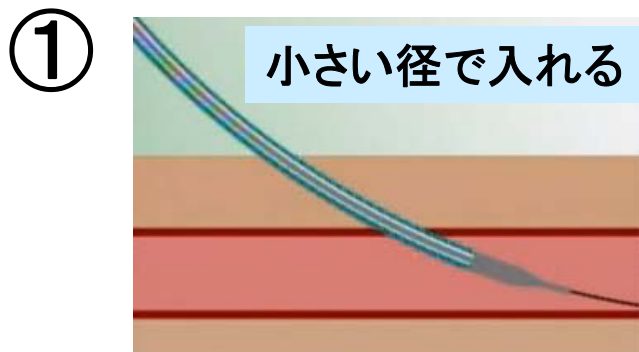
拡張前

8 mm

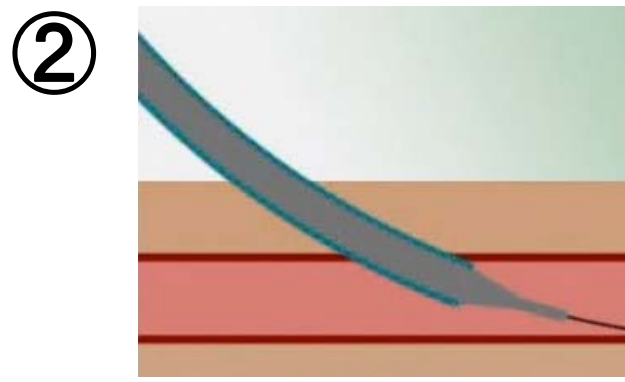
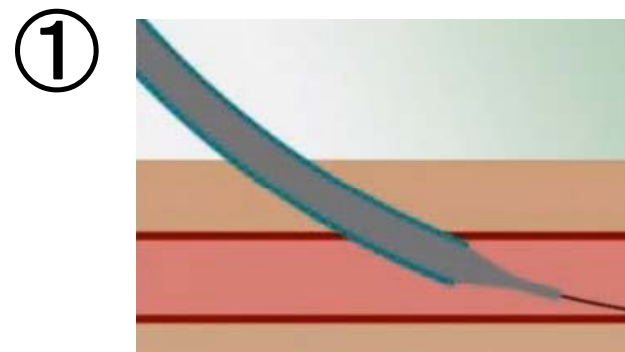
5 mm

1. 大口径シース技術の獲得

Onset社：小さい穿刺傷で出血を少なく



Onset社



一般的なシース

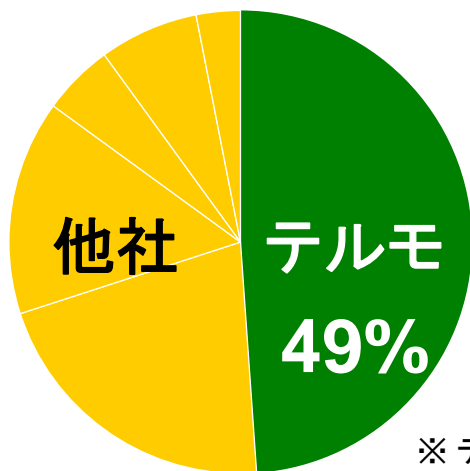
1. 大口径シース技術の獲得

シース市場のストロングNo.1を目指す

■ テルモのシース市場におけるポジショニング

小口径シース

世界シェア No.1

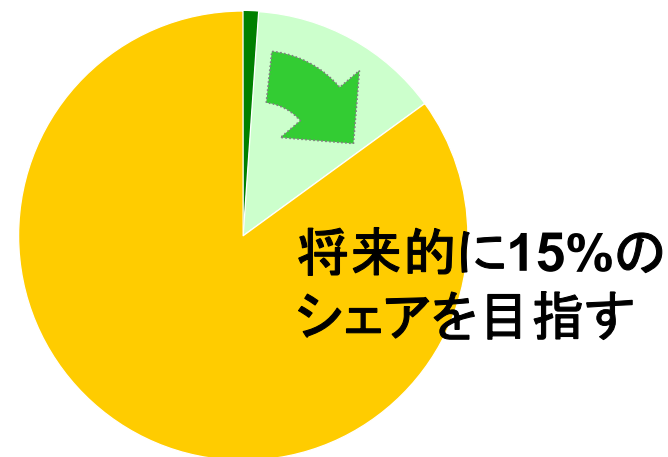


※ テルモ調べ

■ 市場規模 約340億円

大口径シース

本技術で新規参入



■ 市場規模 約45億円

■ CAGR 15%で成長

グローバル生産を支える国内基盤を拡充

■ 高度な生産技術を用いる国内生産拠点

- ガイドワイヤー前工程：高度な素材加工技術
- 疼痛緩和薬：新領域への参入
- ドラッグ & デバイス：研究開発と連携した技術開発

■ BCP※の観点から生産拠点を多極化

- 国内生産拠点が静岡、山梨県に集中

※ BCP: Business continuity planning 事業継続計画

2. 山口工場の設立

グローバル生産体制の確立

日本はマザー工場
(高度技術に特化)

2015
予定



山口工場

甲府工場



愛鷹工場



富士宮工場

英国



米国



量産技術
生産移管

カテーテル商品
一部移管中
(日 ⇒ ベトナム)

バスキテック商品
一部移管
(英 ⇒ ベトナム)

ホスピタル商品
一部移管
(米 ⇒ フィリピン)

アジアを世界の
生産センターへ



ベトナム工場



フィリピン工場

参考資料

決算概要(第3四半期)

(億円)

	前年同期 パフォーマンス*1	12/3期 Q3累計	増減率
売上高	2,804	2,889	+3%
粗利益	1,500 (53.5%)	1,540 (53.3%)	+3%
販管費	1,018 (36.2%)	1,041 (36.0%)	+2%
営業利益	482 (17.3%)	499 (17.3%)	+3%

期中平均レート US\$ 87円 79円
 EUR 113円 111円

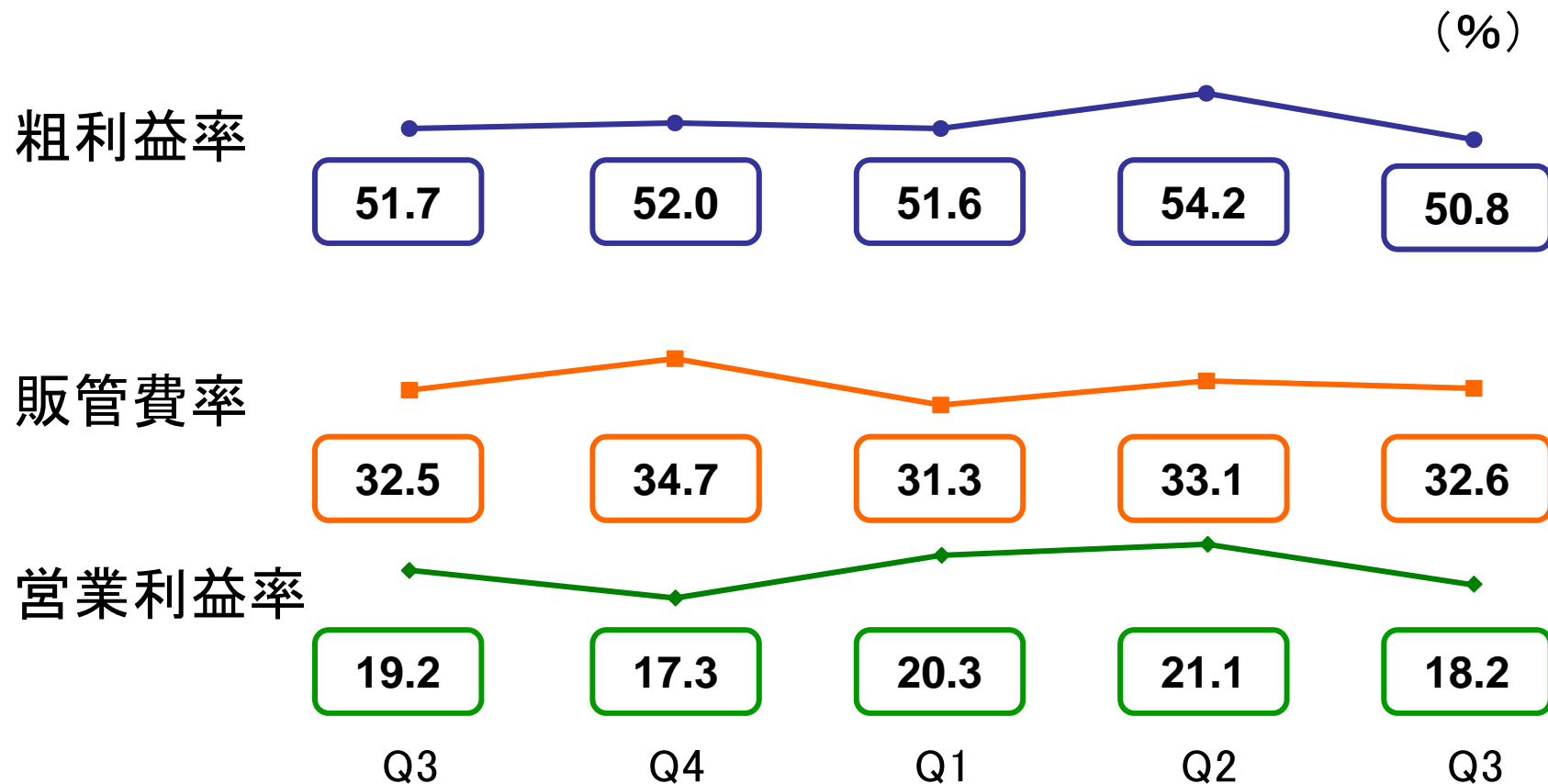
(*1)BCT/Harvest含む

決算概況（対年間見通し）

	(億円)		
	<u>年間見通し</u>	<u>Q3累計実績</u>	<u>進捗率</u>
売上高	3,830	2,889	75%
営業利益	626 (16.3%)	499 (17.3%)	80%
経常利益	570 (14.9%)	463 (16.0%)	81%
純利益	260 (8.7%)	220 (7.6%)	85%

為替レート(US\$)	77円	79円
(EUR)	108円	111円

粗利益率、販管費率、営業利益率

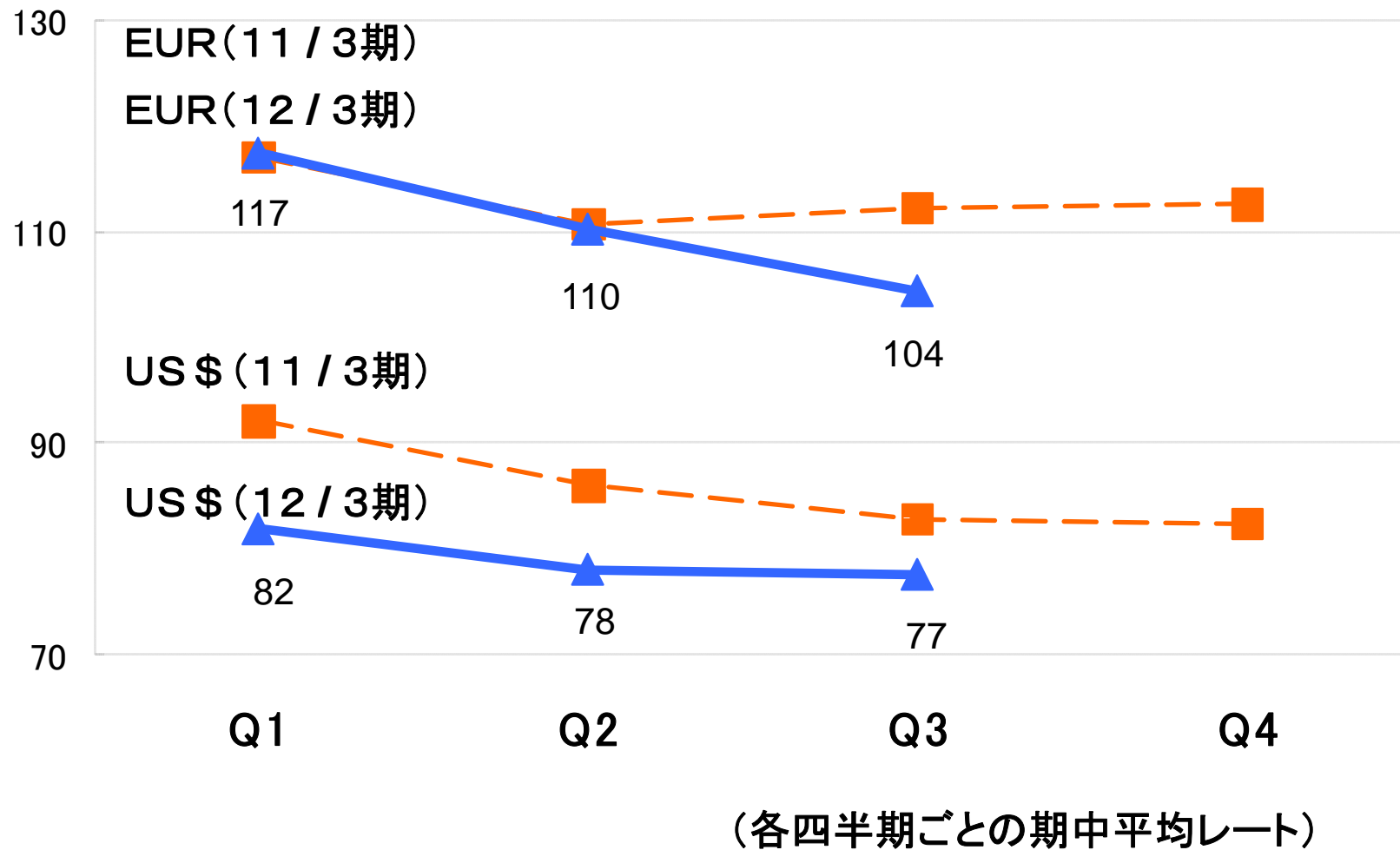


11/3期

12/3期

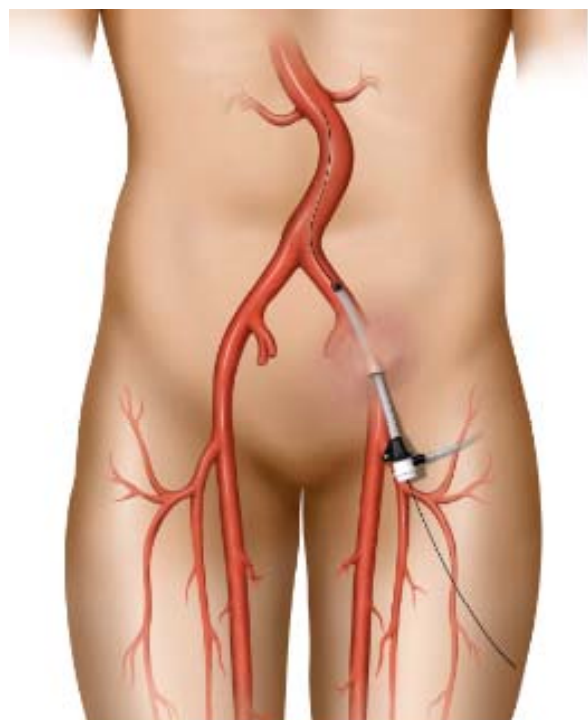
(各四半期の3ヶ月単位)

四半期平均為替レート推移



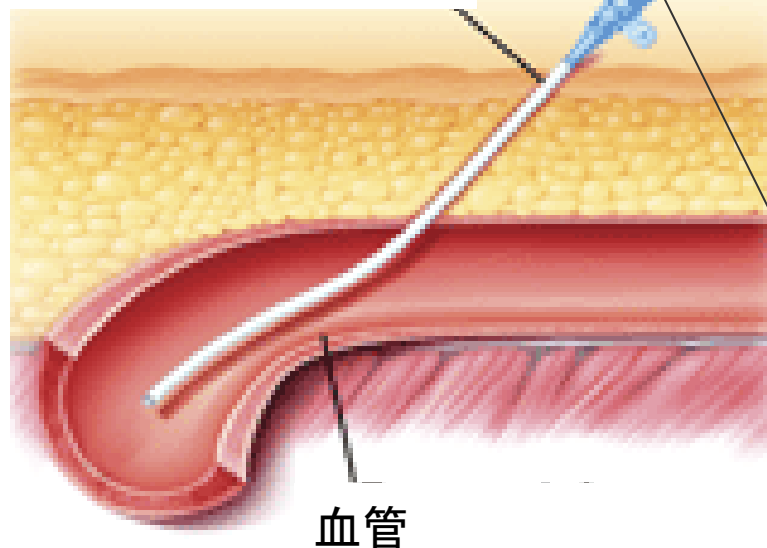
【参考】イントロデューサー・シースとは

カテーテル術における血管確保用の短いカテーテル。
ガイドワイヤーや他のカテーテルの入り口としての役割を果たします。



足の付け根や手首などの動脈に挿入されます

イントロデューサー・シース



ガイドワイヤー
や治療用の
カテーテルが
止血弁を通して
挿入されます

止血弁があり
血液の逆流を
防ぎます

おことわり

本資料のうち、業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な限られた情報に基づき、テルモで判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。

また、市場規模等については、当社の独自の調査を含んでおります。